
銀蒼の狂王

冷

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

銀蒼の狂王

【Nコード】

N6431M

【作者名】

冷

【あらすじ】

コードギアスのゲーム：LOSTCOLORSのR2バージョンです。

軍人編で進めていく予定です。

優しき愚王の願い…

僕は彼女を…ユフィを止められなかった。

僕はまた同じ過ちを繰り返してしまった…

僕は愚かだ。何も守れない愚かな王だ。

いや…今は自暴自棄になっている訳にはいかない…

敵…黒の騎士団が大勢力と化してトウキョウ祖界へと向かっている…

「僕はまだ戦える…ユフィの願いを…コーネリア総督を守ってという彼女の願いを…叶える!!」

彼女の死という十字架は僕が…私が背負う。だから…憎悪の鎧を解いてくれ…スザク…

ライ「MEブースト…」

全ての罪は私が背負う…

「いつでも出発していいわよ。ライ君。」

「くれぐれも無理はしないでね。」

「分かりました。行ってきます。ロイドさん、セシルさん。」

元上司である二人から発進許可が出た。行こう。罪を受け取りに…
その為には…

「ゴメンね…クラブ。無理をさせるよ。」

目覚めさせる、本来の私を…狂王を…だから…

だから…誰も僕に近付かないで…

「ランスロットクラブ…発進!!」

僕は愛機と共に…見えない十字架と共に戦場の空へと舞った。

黒の騎士団の反乱…後にブラックリベリオンと呼ばれる戦いは我々ブリタニア軍が勝利した。

勝因は本国からの増援、ゼロの離脱による騎士団の指揮系統の乱れ。

そして僕…狂王による殲滅…

これにより騎士団の幹部を含む大半を捕らえることができた。

だが…

コーネリア総督の負傷、ダールトン將軍の戦死…トウキョウ祖界の壊滅などブリタニア軍の損害も大きかった。

だが…ギルフォード卿の指示により、ブリタニア軍は指揮系統を立て直すことに成功したのだった。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6431m/>

銀蒼の狂王

2010年10月11日04時33分発行